

シンポジウム「心と身体から教育を考える」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 心理学・教育学委員会 心と身体から教育を考える分科会
2. 後 援 京都大学教育学研究科グローバル COE「心を活かす教育」
3. 日 時 平成20年6月1日(日) 13:30~17:30
4. 場 所 京都大学文学部新館第三講義室(京都市左京区吉田本町)
5. 次 第

開催趣旨

いじめや自殺、青少年犯罪など深刻な状況への社会的対応として、いのちの教育や心のケアの重要性が叫ばれている。だが、「いのち」や「心」といった言葉が一人歩きしてしまい、そもそも脳や心、身体はどんな連関をもつのか？教育可能なのか？善悪の判断など価値観形成にどんな関係があるのか？など、基本的な問いに十分に答えられるだけの基礎的な研究は進んでいるとはいえない。こうした反省の立場にたち、これまで分科会では、哲学、医学、心理学、体育学、教育学の委員による学際的な議論を重ねてきた。本シンポジウムでは、これまでの議論の成果を公開するとともに、心と身体など人間をトータルに捉える立場から教育を捉えなおすための新たなまなざしについて、それぞれの提言を踏まえた発表報告および討議を行う。

開会あいさつ：加賀谷淳子(日本女子体育大学教授、日本学術会議会員)

I 第一部(13:30~15:00)

司会 鈴木晶子(京都大学教授、日本学術会議会員)

- 1) 入来篤史(理化学研究所、日本学術会議連携会員)
- 2) 松沢哲郎(京都大学教授、日本学術会議会員)
- 3) 鈴木晶子(京都大学教授、日本学術会議会員)

コメンテーター 1) 今井康雄(東京大学教授、日本学術会議連携会員)
2) 藤原勝紀(京都大学名誉教授)

II 第二部(15:15~16:50)

司会 増渕幸男(上智大学教授、日本学術会議連携会員)

- 1) 大田直子(首都大学東京教授、日本学術会議連携会員)
- 2) 宮寺晃夫(筑波学院大学教授、教育哲学会代表理事、日本学術会議連携会員)
- 3) 辻本雅史(京都大学教授、日本学術会議連携会員)
- 4) 跡見順子(東京大学名誉教授、日本学術会議連携会員)

コメンテーター 矢野智司(京都大学教授)

全体討議 (16:50~17:20)

全体のまとめ、閉会あいさつ(17:20~17:30)

加賀谷淳子(日本女子体育大学教授、日本学術会議会員)

*事前申し込みは必要ありません。